

## 第2学年 生活科の実践

1 単元名 「あそんで ためして くふうして」 (全17時間 本時5時間目)

2 単元目標

### 単元目標

身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、遊びやおもちゃをつくる面白さや、おもちゃの動きの不思議さに気付くとともに、生活上必要な技能を身に着け、遊びを造り出そうとすることができるようにする。

3 「ひびき合う三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題 「子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」  
手だて・・・子どもの思いや願いを見とった単元構想と授業づくり  
ブロックテーマ・・・「感じる心、素直に表現する自分」  
・人の言動に何かを感じる姿

### 〈聴く・話すについての指導〉

「聴く」については、全体的に友だちの話を聴こうという意識が高い子が多いように感じる。聞き方名人「あ：相手を見る い：いい姿勢で う：うなずきながら え：えがおで お：終わりまで」を子どもたちに伝え、4月当初から意識させてきた。うなずきながらなど、反応を示しながら聴くことがだいたいできるようになってきた。しかし、終わりまでしっかり聴き、相手の発言の意味を捉えているか、という点では、まだ指導が必要と感じている。

「話す」については、日直のスピーチを継続的に行い、定期的に人前で発表する場を設けている。ただ、人前に出ると緊張し、発表できずにいる子も数名いる。徐々に、小さい声であるが、泣かずに発表することができるようになってきた子もいる。その反面、自分の意見を伝えたいという意欲が高く、友達の発言を最後まで聴かずに話し始めてしまう子もいる。どんな考えや意見も発表できる場づくりを心掛け、クラスづくりを行っているところである。

### 〈これまでの関わり合い・ひびき合い〉

全体的話し合いでは、発言する子が偏ってしまうことがよくある。そのため、事前にノートに自分の意見を書かせ、教師がそれを見取り、その考えに自信を持たせてから話し合いの場を設けるなど、工夫を重ねてきた。さらに、座席の形態も常に子どもたちと相談して変えている。コロナが落ち着き、対面の授業が進む中で、最初はコの字型の座席にした。本学級の児童には、なかなか慣れなかったようで「黒板が見づらい」などの声があがった。前向きの席とコの字型の席、どちらが勉強しやすいかを話し合った。その結果、話し合いのときは、コの字型の座席にすることになった。

こうした教室環境も子どもたちと話し合い、意見を出し合いながら決めることにしている。そうすることで、授業では発言することが難しい子であっても、全体の場で発言することができるようになってきている。また、自分の意見に自信を持つ手立てとして、グループでの話し合いも取り入れている。スモールステップを重ねることで、少しずつ自信につながっていくことを願っている。

図工の学習で行った「パタパタストロー」では、ストローを使って動くおもちゃ作りをした。その仕組みがよくわからない子がいると、自分の活動を中断してまで教えてあげている子の姿も見られた。優れた作品ができあがった子がいると、「先生！〇〇さんのすごいんだよ！」と言って、教えてくれる子もいた。友だちの作品のよさを感じ取って誰かに伝えようとする姿が見られた。また、「新聞紙となかよく」では、一人に一枚ずつ新聞紙を渡し、活動を始めた。最初は、戸惑っていた子どもたちも「まず、たくさん作るのか、大きなものを作るのか決めてからやってみよう。」など自然と話し合い、協力する姿が見られた。

生活科の学習「1年生に学校案内をしよう」では、学習を進めるにあたり昨年度の経験をもとに話し合った。「招待状があると喜んでもらえるかも。」「丁寧な字で書かないといけないね。」「相手がもらってうれしい招待状にしよう。」など話し合いを行った。話し合いの中で発言者の顔を見たり、首をかしげたり、うなずいたり、そういう自然な反応が出てくるとともに、「でもさ。」や「こういう時はどうなるの？」など一つの意見に対して自分の意見を重ねようとする姿も見られるようになってきている。

#### 4 単元と指導

##### 〈単元について〉

本単元は、学習指導要領第1学年及び2学年の目標の趣旨である、「身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。」にあたる。また、学習指導要領の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気づくとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする」を受け、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、遊びを創り出したりしながら、友だちと楽しく関わり合う活動を中心に行う。また、試行錯誤を繰り返すことで、創意工夫する場面が数多く得られ、気づきが高まったりねばり強く何かを作ったりするなどの力が身につく単元でもある。

##### 〈指導について〉

日頃、子どもたちの放課後の遊びについて話を聞くと、多くの子がゲームをしていると答えた。ゲームで遊ぶことはあっても、手作りおもちゃを作って遊ぶと答えた子は、少ない。しかし、休み時間には折り紙を使って、作品を作ったり、友だちと協力してごっこ遊びのパーツや部屋などを作ったりして遊んでいる姿をよく見かける。なかには、マトリョーシカのアイデアをもとに大・中・小の立方体を組み合わせて大作を作る子もいた。子どもたちにとって身近なものが折り紙であることを受けて本単元の導入としたい。

紙飛行機をみんなでつくってみることから始める。自分の自慢の紙飛行機を作り、飛ばすという活動から自然と「もっと遠くまで飛ばしたい」「だれの紙飛行機がいちばん飛ぶのか、比べてみたい。」という思

いを持つであろう。作って遊ぶ活動の中で、教師が紙飛行機の発射台を使い、子どもたちと一緒に飛距離を比べる。ゴムを使った発射台を見ることで、「これも、ありなの?」「自分も作ってみたい。」または、「飛行機の形も変えてもいいよね?」などと自由で柔軟な発想が出てくると考える。

大会を開くことで、「遠くへ飛ばしたい。」という切実な思いを持つであろう。しかし、個人戦にすると、他者へコツやアイデアを教えることを拒む子がいるのではないかと考える。さらに、一人では、製作することが難しい児童もいるため、ミニ大会を設定し生活班の合計飛距離を比べるなどして、協力する時間を意図的に設ける必要があると考えている。そのため、ルール確認は、とても重要になってくると考える。

自分の作りたい紙飛行機、必要なもの、飛ばしてみでの感想、友達からのアドバイスなど毎回記録できるようにワークシートを用意する。子どもたちのワークシートは、休み時間などに閲覧可能にしておき、自分のアイデアにつなげたり、わからないことを直接聞いたりできるようにしておく。

紙飛行機大会が終わると、自分の作りたいおもちゃを制作したいという思いをもうであろう。去年、2年生に招待してもらった経験をもとに、おもちゃの例示をし、自分が作りたいおもちゃを決めていく。その際、「工夫できるもの、遊べるもの、安全に作れるもの」などいくつかの視点を与えながら選んでいきたい。

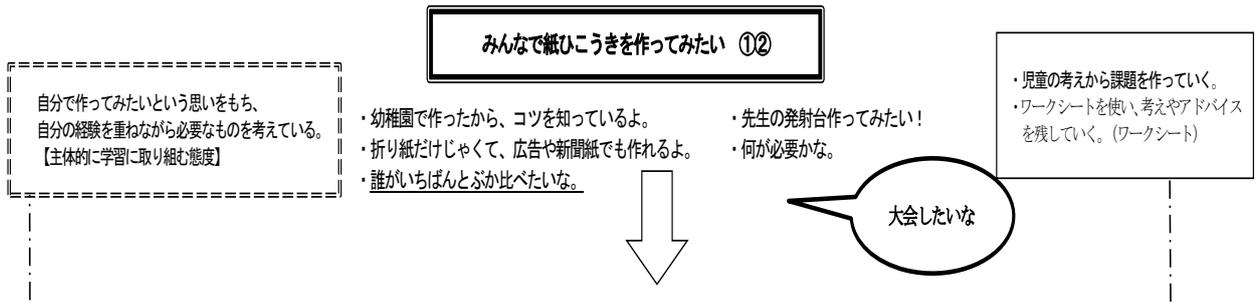
本時で児童が解決したい学習課題は、「**もっと遠くまで飛ばすには どうしたらいいのかな。**」である。発射台を作る、作らないも選択の一つであり、紙飛行機の形状や材質にこだわるのも選択の一つである。みんながばらばらの考えを持ち、作業をするであろう。そこで、話し合いの土台として、ミニ紙飛行機大会の経験をもとに、「**自分の考えを発表したり、友だちの考えを聞いたりしながら、「もっとこうした方がいいよ。」「なるほど。」「それ、やってみよう。」などという言葉**を大切にしながら伝え合う姿をひびき合いの姿とする。

5 単元構想

2年2組 生活科 「あそんで ためて くふうして」

単元目標	身近にある物で遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、遊びやおもちゃをつくる面白さや、おもちゃの動きの不思議さに気付くとともに、生活上必要な技能を身に付け、遊びを造り出そうとすることができるようにする。
------	--

◇休み時間に折り紙を使って遊ぶ子が多い。手裏剣やプーメランのようなものを作り、投げて遊んでいる子もいることから、みんなになじみのある材料の折り紙を使い単元の導入とする。



作りたい紙飛行機のイメージをもち、形や材料を考えている。  
【思考・判断・表現】

道具を安全に使いながらおもちゃを作ろうとしている。  
【思考・判断・表現】

困り感を具体的にグループやクラスで共有し、友だちからアドバイスをもらう。

飛ばす場所や向きを決め、飛ばした距離を測れるようにする。  
人に向かって飛ばさないことに注意させる。

自分の紙飛行機を飛ばしたり、友達の飛行機を見たりして、飛行の様子や着地の様子に気づくことができる。【知識・技能】

作ったおもちゃで友だちと楽しくあそぶことができる。  
【主体的に学習に取り組む態度】

作ったおもちゃを友だちに紹介している。  
【主体的に学習に取り組む態度】  
作ったおもちゃで遊びながら、気づいたり教えてもらったりしたことを生かし、改善したり、遊び方を考えたりしている。  
【思考・判断・表現】

1年生に遊び方を教えたり、動かすコツを教えたりして、楽しくあそんでもらえるようにする。  
【主体的に学習に取り組む態度】

### 比べるために準備しよう ③+0.5

- ・ルールの確認が必要だね。飛んでいる距離？飛んでいる時間？
- ・どんな材料が必要かな。 ・場所を話し合おう。 ・風のないところがいいな。
- ・グループごとに、飛ばしてみよう。

### ミニ紙ひこうき大会を開こう ④

- ・よく飛んだ子にアドバイスが聞きたいな。 ・どうして、あんなに飛ぶんだらう。
- ・自分の考えたコツをみんなに伝えたい。 ・発射台を作ったけれど・・・うまく飛ばないな。

### もっと遠くに飛ばすにはどうしたらいいのかな？⑤本時 ⑥

ひこうき	発射台	飛ばし方① (紙飛行機のみ)	飛ばし方② (発射台含む)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひこうきの形が大事なかな</li> <li>・大きさを変えてみたい</li> <li>・ある程度の重さが必要かも</li> <li>・材料(広告、新聞など)</li> <li>・前に重みをつけるといいよ</li> <li>・羽をつけたらどうかな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムの太さを変えよう</li> <li>・長さを変えよう</li> <li>・かたい紙を使うといいよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上に向かって飛ばす</li> <li>・勢いよく飛ばす</li> <li>・ポールを投げるように飛ばすといいよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上に向けすぎない</li> <li>・勢いよく引っ張る</li> <li>・少し上向きにする</li> </ul>

### 紙ひこうき大会をしよう！⑦

- ・遠くまで飛ばせるようになった。
- ・誰かにプレゼントしようかな。
- ・ゴムを使えばもっと他のおもちゃも作れそうだね。
- ・他のおもちゃも作ってみたいな。

### 他のおもちゃも作ってみたいな ⑧⑨⑩⑪

- ・ぼくは、ぼっちんがえるを作ってみたいな。
- ・わたしは、とことこカメをつくりたいな。
- ・輪ゴムを使ったおもちゃがいいな。
- ・楽器もつくれそうだね！
- ・風を使ったおもちゃも楽しそう。
- ・ペットボトルがたくさんあるから、それを使いたいな。

作れない児童には見本を見せ、道具や作り方の手順を確認し、見通しを持たせる。

### みんなであそぼう！⑫⑬

- ・楽しかった！家でも作ってみたい。
- ・お祭りみたいみんなでお店を出したいな。
- ・お客さんを呼びたいな。
- ・去年も招待してもらったから、1年生を招待したいな。

### 1年生をしようたいするじゅんぴをしよう ⑭⑮

- ・招待状も作ろうか！ ・看板もあつたほうがいいね。
- ・たくさんのお店をまわってもらいたいから、スタンプラリーみたいにしたらどうかな。
- ・景品を渡したら、うれしいかもしれないよ。
- ・たくさん飛行機やぼっちんがえると作っておこう。
- ・やり方やルールの説明を細かくおいておくといいね。

### 1年生をしようたいしよう ⑯+0.5

- ・やり方の説明やルールの説明をしっかり伝えよう。お手本をみせてもいいね。
- ・楽しく遊んでもらいたいから、やりたい子に並んでもらおう。
- ・やさしく声をかけてあげよう。

安全で楽しく遊べるような場づくりを行い、遊んでいる様子を見守る。  
遊ぶ時間を伝え、いろいろなおもちゃで遊んでもらえるように声をかける。

6. 本時について

本時目標 紙飛行機をより遠くへ飛ばすための工夫を、みんなで話し合うことができる。

学習活動	主な支援・留意点 ◆評価【観点】
<div data-bbox="237 368 1249 432" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>紙ひこうきをもっととおいにとばすには、どうすればいいだろう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="230 493 398 520" style="width: 45%;"> <p>&lt;紙ひこうき&gt;</p> <div data-bbox="230 544 622 740" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>紙</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形・軽い紙にする</li> <li>・折り紙を2枚重ねる。</li> <li>・</li> </ul> </div> <div data-bbox="230 807 622 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽をつける</li> <li>・先を折り曲げる</li> </ul> </div> <div data-bbox="230 1054 622 1251" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>おもさ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリップをつける</li> <li>・セロハンテープをつける</li> </ul> </div> </div> <div data-bbox="757 493 925 520" style="width: 45%;"> <p>&lt;はっしゃ台&gt;</p> <div data-bbox="757 549 1144 745" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムを太くする</li> <li>・ゴムをねじってみる</li> <li>・上にむけてとばす</li> </ul> </div> <p>&lt;とばし方①&gt;</p> <div data-bbox="714 839 1167 1062" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールをなげる時みたいにとばす</li> <li>・まっすぐにとばす</li> <li>・いきおいをつけすぎない</li> <li>・いきおいをつけてとばす</li> </ul> </div> <p>&lt;はっしゃ台 あり とばし方②&gt;</p> <div data-bbox="714 1118 1106 1283" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴムを太くする</li> <li>・ゴムをねじってみる</li> <li>・上にむけてとばす</li> </ul> </div> </div> </div>	<p>○学習問題を確認する。</p> <p>○どうしてもっと遠くに飛ばせるのか、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもからでてきた考えを分類しながら板書する。</li> <li>・ワークシートを活用して、自分の考えを可視化しておき、発言しやすくする。</li> <li>・話し合いがみんなで行えるように、意図的指名も取り入れていく。</li> <li>・わけも言わせ、話し合いを深める。</li> </ul> <p>◆身近なものを使って、より工夫して遊べるように表現したり、伝え合ったりしている。 【思考・判断・表現】</p>

## 7 実践を終えて

### <単元について>

単元の導入では、1年生の時に動くおもちゃを2年生に招待してもらった経験を話し合ったり、放課後、家でどのような遊びをしているかを話し合ったりした。その後、「学校で、みんなで遊ぶにはどのようなことができるだろう」という話し合いをした。すると、「学校では、折り紙を使って遊ぶよ。」「折り紙でボールを作ったよ。」「パズルを作ることもできるよ。」「お人形のお家を作ったよ。」「紙飛行機作りたい！」など折り紙を使った様々な遊びが出てきた。「紙飛行機は、みんなで工夫して遊べるよ！」という発言に、子どもたちは共感し、全員で紙飛行機を作って飛ばすという活動をするようになった。作った飛行機を外で飛ばしたり、廊下で飛ばしたり活動する時間を多く取った。「みんなで比べてみたい。」「大会を開いてみたい。」という発言が自然と出てきた。そこで、ミニ大会を開き、改良ポイントを話し合い、本大会を開くという単元構想を考えた。ミニ大会では、なかよし班ごとに飛ばして誰がいちばん遠くに飛んだかを競った。その経験をもとに、改良を加え、その改良をみんなで話し合うという活動が本時であった。改良を加えていく中で、友達同士で教えあう姿もみられた。「もっと他の方法も知りたい。」という声も聞かれた。

### <本時について>

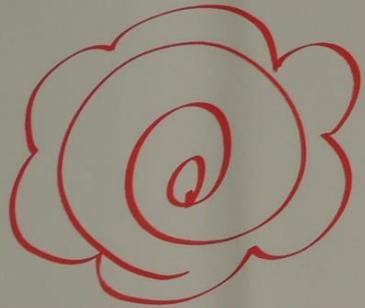
しかし、本時の冒頭で「もっと遠くへと飛ばすコツをみんなに教えたくない。」という意見を出した子がいた。少数意見ではあったが、子どもの想いとしては、自分のコツを教えたくないという気持ちも確かにあるだろうと思った。今回は、紙飛行機大会事前エントリー制を取り、ワークシートに飛行機の絵や自分の工夫を書かせていた。さらに、クロームブックを使い、写真を撮り、その写真をオクリンクで担任に送るという活動を入れていた。大会に参加するのは、すでに登録してある紙飛行機だけであることを伝え、改良するのは大会後にするという約束を確認した。コツをみんなに教えたくないと言っていた子も納得し、授業を進めることができた。

### <成果と課題>

成果としては、「自分のコツをみんなに教えたい。」「もっと遠くまで飛ばしてみたい。」「他の子のコツを知りたい。」「ユーチューブを見て調べてくる。」などという感想をワークシートに書いていた子もいた。どの子も意欲的に取り組むことができ、「紙飛行機をもっと遠くに飛ばすにはどうすればよいか。」という学習問題に対しては、子どもたちにとって解決したい問題となっていたように思う。さらに、意識的に立ち止まり焦点化したことで、発表の仕合にならず、一つのことについて話し合いを進めることができていた。様々な気づきを板書で整理し、さらに言葉で説明を加えることで話し合いが深まったように感じる。飛ばし方のコツを紹介した子は、実際に飛ばし方の違いを実演してもらいみんなで共有することができた。

課題としては、話の中で、「空気抵抗を少なくする。」という発言が出てきた。子どもにとって馴染みのない言葉や個人の感覚の違いについては、具体的に共有することができるとよかった。さらに、ワークシートに本時の振り返りがあると、今後の取り組みへとつなげていくことができたのではないかと考える。話し合いと振り返りについての時間配分は、今後も課題である。

11/8 No. 22 「あそんで」ためしてくふうして」生活科



どうすれば遠くへとばせるのかな

- ・活発に意見を共有していた
- ↳ 意識的に立ち止まり、焦点化◎
- ・あたたかほろゆき
- ・いろいろな気づき
- ↳ 板書、言葉で整理→深まり

話し合いをとおして  
 友だちの工夫に気づき  
 自分の紙ひょうきを改良したり  
 飛ばし方に生かそうとする姿

- ・子どもの発言の意味・理解のために、具体物を掲示、
- ・本時のふり返りがあると、今後の取り組みに<sup>(ふり)</sup>つなげていく

空気抵抗について具体的に共有できるよ

ひびき合い